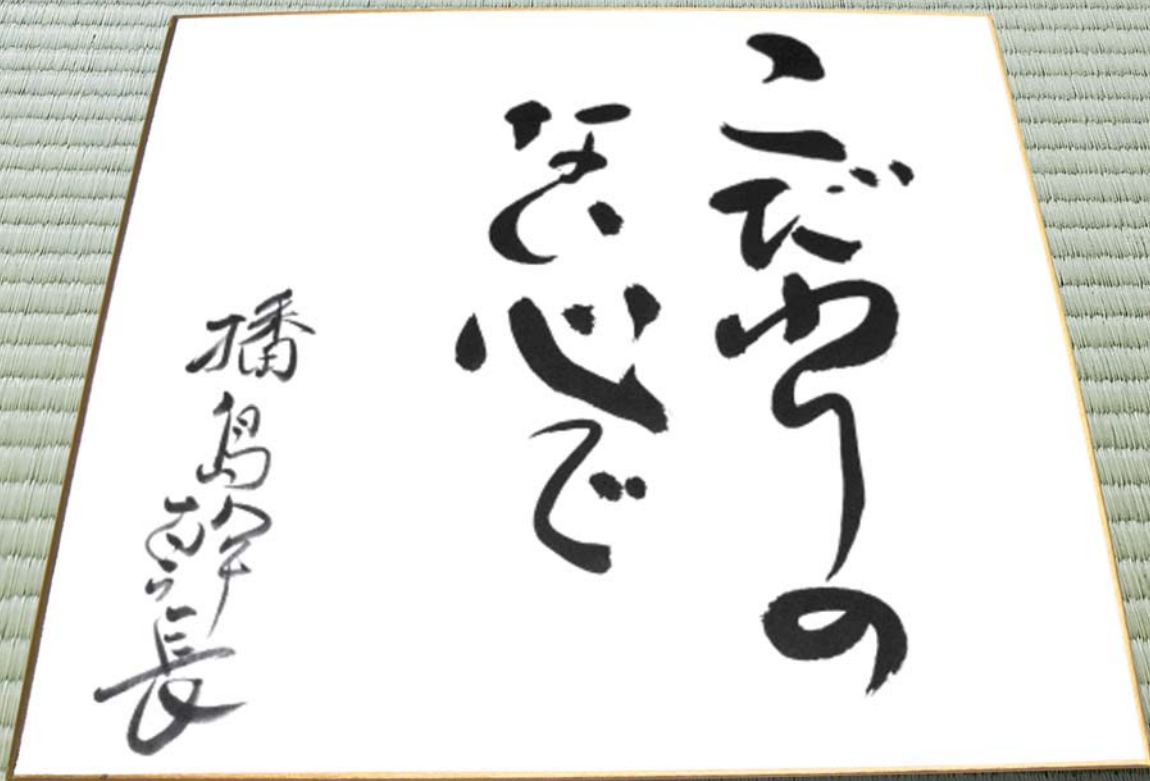




私の一筆

燦ホールディングス株式会社 代表取締役会長

播島 幹長



This interview 【今号の会員様インタビュー】

こたわりのない心で
— 浮かび上がる核心

燦ホールディングス株式会社 代表取締役会長 播島 幹長

GCCO INFORMATION

ご利用いただくほどに、価値あるエグゼクティブプラン

Lounge

ビジネスマン必須! パワーランチ^{プラス}

ランチ料金のみ(¥1,200~¥2,000)で
10:00~14:00の4時間
ご利用の間、
コーヒーを無料でサービス!

ビジネススクラブならではのサポート!

- FAX ●コピー ●無線LAN
- ホワイトボード ●プロジェクター
- スクリーン ●筆記具 etc



ひとくち食べて、美味しくなければ全額返金致します!

日替わりランチ 「おいしさ品質保証!」

対象は、ランチメニューのうち
日替わりランチのみとさせていただきます。
ひとくち召し上がった段階でご判断いただき、係りの者にお申し付けください。代替品としてビーフカレーをご用意させていただきます。

私たちは、お客様のご満足を
第一に考えてまいります。



Event

第9回YEA企画 『第3回 YEA 総会』

～稼働率 89% リピート率 70%
顧客がキャンセル待ちするホテルで行われていること～
“稼働率89%、リピート率70%”で有名なスーパーホテルの山本会長よりご講演いただきます。“1円あたりの顧客満足日本一”といった興味深い話に関してご講演いただけるのではないのでしょうか。現在では社会福祉事業にも参入されているスーパーホテルの今後についてもお伺いします。

- ◎参加費/会員 ¥3,000 非会員 ¥5,000(懇親会込)
- ◎日時/2011年1/19(水)
18:30~20:30
- ◎集合場所/ガーデンシティクラブ大阪
- ◎講師/スーパーホテル株式会社 会長
山本 梁介氏
- ◎ホスト/株式会社サイバーネーション YEA委員 株式会社梅酒屋



山本 梁介氏

代表取締役 喜納 広樹氏(委員長)
代表取締役 上田 久雄氏(副委員長)
他4名

GCCO メンバーシップ・コミティ主催イベント 第29回 メンバーズパーティー

『発展するアジアを日本の内需に』
ASEANなどのアジア諸国が発展している中、日本は未だ先の見えない状況が続いております。そういった状況をどのように打破していくか、政治面からの視点なども交え、宮本氏の視点からご講演いただきます。講演会の途中では随時意見交換会も企画しておりますので、是非ともご期待くださいませ。

- ◎参加費 ¥3,000(懇親会込)
- ◎日時/2011年2/8(火)
18:30~20:30
- ◎ホスト/元関西電力株式会社 副社長
元関西国際空港株式会社 代表取締役会長
現株式会社きんでん 特別顧問
現関西国際空港株式会社 相談役
宮本 一氏



第13回 アクテビティ・コミティ主催イベント

酒蔵見学

『宮水』で有名な白鷹の酒蔵見学に行きます。
酒蔵の歴史に触れながら、絞りたての原酒を楽しみます。
しぼりたての新酒が楽しめるこの季節。
まさに今しぼったばかりの垂口蔵元でしか体験できない、しぼりたて新酒を心ゆくまで味わってみませんか。

- ◎参加費 ¥3,000(懇親会込)
- ◎日時/2011年2/10(木)
16:00~18:30
- ◎集合場所/阪神西宮駅 東出口改札
- ◎ホスト/白鷹株式会社 代表取締役
澤田 朗氏



料金はすべて税金・サービス料が含まれております。

スタッフ紹介 vol.18 りん ほうゆう

「これからよろしくお願いたします!」
9月よりGCCOでお世話になる事になりました。阪神タイガースのリンと同じ「リン」ですが日本語しか話せません!!メンバーシップ担当として頑張りますのでよろしくお願致します。



◎趣味:フットサル、ぶらぶらする事 ◎生年月日:昭和62年3月17日(24歳)

イベントのお申し込み・各種お問い合わせは
TEL.06-6343-7770

会報に関するご意見・ご要望もお待ちしております。



〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA 6F
TEL:06-6343-7770 FAX:06-6343-7773

<http://www.gcco.jp/>

メールでのお問い合わせは info@gcco.co.jp

ビジネスマッチング第二弾。

GCCOを通じて、(株)電通、(株)ムーンサルトプロジェクトによる
「大学生のための知的財産法セミナー」が開催されました。



左株式会社電通 関西法務部長 山本 康博 氏
右株式会社ムーンサルトプロジェクト 代表取締役 中森 光彦 氏

大手企業とベンチャービジネスを結びつける

(株)電通、(株)ムーンサルトプロジェクトを通じて、大学生のセミナーを

大手企業の声を地域の学生へ

関西経済の活性化の一助に。こんな大それたともいえる看板を掲げるガーデンシティクラブ大阪(GCCO)だが、タンゴバーにおける新たな出会いの場の創造(16号既報)に続く第二弾のビジネスマッチングが実現した。地域活性化のシンクタンク・(株)ムーンサルトプロジェクト(神戸市東灘区向洋町中6の9 KFM4C-08、中森光彦社長)と電通のコラボレーションを仲立ち、近畿経済産業局による「大学生のための知的財産法セミナー」を相次いで開催した。

「社会、とりわけ今回は大手広告会社で法律に携わっている人の生の声を学生たちに知ってもらいたい」という近畿経産局の依頼を受けたムーンサルトプロジェクトの中森社長からの協力要請で、GCCOの事務局がメンバーの田中信治朗電通執行役員に相談、二つ返事で同社法務室関西法務部の協力を得ることに成功した。そして、ムーンサルトプロジェクトのプロデュースによる同セミナーが、同志社大、関西大学などの各大学で開かれ、好評を博したのだ。GCCOの会員層の厚さ、多様さと、それを結び付ける事務局の、GCCOの本分(会員の相互交流支援とそれを通じた関西経済の活性化)に徹した不断の活動の賜物といえる。



より美しく活力ある地域を

東西冷戦崩壊後のグローバル時代は、インターネットの時代でもあるが、地球規模での弱肉強食の時代ともいわれている。しかし、逆説的だが、ムーンサルトプロジェクトがレスター・ブラウン博士の「全社会システムの、環境保護を最優先とした持続可能なシステムへのシフトチェンジが喫緊の課題の時代」という警鐘を引いて社是に掲げる「より美しく活力ある地域社会プロデュース」の重要性が、それこそ地球規模で要請されている時代でもある。町や村といった生活の最小単位である地域の暮らしが安定的に確保されていないと、たとえばシャッター通りや過疎、里山崩壊といった形で環境破壊が始ま

り、その地域の持続的な営みが不可能になる。

では、地域が生き残るためにと、たとえば資源の乱獲や、度を越した大規模開発などに走ると、その地域は短期的には勝者になっても、今度は地球規模での環境破壊の引き金の元凶になりかねない。私たちの生活や国の安定的な発展の基盤が地域に求められるインターネット時代は、経済面などで、名もないある地域を突然、世界の“セレブ”に変身させる可能性と怖さを秘めている。だからこそ「地域」は、大げさかもしれないが、人類、地球を視野に入れて、「美しく活力ある」ものにしていく必要がある。

ムーンサルトプロジェクトは、「サラリーマン(ゼネコンプランナー)から起業して、はじめに家族ありきを痛感させられた」中森社長が、ブラウンの持続可能なシステムへのシフトチェンジのためには「はじめに地域ありき」の哲学で、体操のムーンサルト(月面宙返り)の発想で、光を媒介に、照らし合い、この宇宙に平和をもたらそうと努力する世直し講として、行政、住民とのコラボレーションで、地域にさまざまな価値創造をもたらせるお手伝いに取り組むベンチャーである。

“ほんとうのさいわい”

そして、その基本は人材育成に求めている。地域振興に欠かせない地場商品の海外展開には、ブランド化や知的財産権の保護、地域団体等力商標などが、また欠かせない。同社では沖縄県大宜味村の「知的財産先進都市モデル」の一環として、県内110小学校、各3中・高校、2高専、6大学の延べ6000人に知的財産教育を実施している。同社はまた、大島渚監督の下で鳴らした大重潤一郎氏(現取締役)によるドキュメンタリー映像(沖縄・久富島の神事、アメリカインディアンの聖地・ビッグマウンテン)などの地域を考える映像ソフトを保有するなど、プランナー、映像・音楽制作、学識経験者三位一体の地域振興活動を通じて“ほんとうのさいわい”(宮沢賢治)追求に挑戦している。

BRICs諸国の追い上げを振り切るためには、「ポスト製造立国」への対応、これまで培ってきたモノづくりの資産に、新たな価値を創造して、日本発の「新しいコンセプト」づくりが急務だといわれている。弱肉強食のグローバル時代は、また本物の時代ともいわれている。グローバル時代こそ地域の時代と喝破するムーンサルトが演出する“ほんとうのさいわい”に期待大だ。

こだわりのない心で

——浮かび上がる核心

播島 幹長 Masanobu Harishima

人の行く裏に道あり、花の山

結構、就職難の時代でした。入社試験の受験資格である学校推薦をもらって、毎日新聞社、日興証券、三菱造船(三菱重工)の3社を受け、辛い毎日と日興に受かりました。でも合格通知電報が早かった日興に、当時のしきたり通り入社しました。

いつもそうなのですが、私は目の前に問題が生じたり、やるべき課題が与えられると、知らず知らずのうちに、気力が充実、すーっと、そのテーマに没入することができました。あるがままを受け止め、何をなすべきなのかなどについて考える。そうしていきますと、わりあい自然に事の核心、本質に迫れるようになることに気がつきました。この「播島流」で、調べ、考え、分析したところ、会社の方針通りに営業を続けていると、お客様のためには決してならないことに気が



撮影:株式会社エグゼクティブプレス

PROFILE

播島 幹長 略歴

昭和11年 大阪市生まれ。
昭和33年 同志社大学経済学部卒。
日興証券などを経て
昭和53年 公益社入社。
業務部長、管理本部長などを歴任。
平成10年6月 社長就任。
平成15年4月 会長就任。
現在、社名変更した
燦ホールディングス株式会社
代表取締役会長。

がつかしました。私たちも次から次へとお客様を増やしていかない限り、営業成績を安定的に上げていくことはできないこともわかりました。

ですから、営業の出発点である現物取引の買いからのスタートではなく、信用取引の売りからお客様との取引を始めることにし、その結果、多くのお客様によりよい投資効果を上げていただくことができました。商売の基本である、顧客への貢献を通じて、自らの利を計ることに成功したのです。証券業界でもっとも有名な格言「人の行く裏に道あり、花の山」を地で行ったわけです。が、当時の副社長から電話で直接、お叱りと禁止の通告を受けました。そのとき、もし毎日新聞の電報が早かったら、今ごろは記者をやっていただろうに。そんな思いにとられたものでした。日興証券には11年お世話になりましたが、十二指腸潰瘍を患ったこともあつて、33歳で大阪に戻りました。

改革の幹は長く太く



休日にガーデニングを楽しむ

株式の公開を柱とした、近代的な企業への脱皮に向けた種々の改革の種が播(ま)かれた小さな島が公益社だった。でも心ある少数の人々の勇氣と丹精により、種は芽を吹き、風雪にもめげずに、長く太い幹となり、島も人、施設、資金、サービスなどあらゆる面で、二回りもふたまわりも大きなそれにと成長した。播島幹長(はりしま ますのぶ)さん。まさに名は体を表すという表現がぴったりの改革者といえる。しかもこだわりのない素直な心が、常にその改革の核心が何であるかを忘れさせない。何のための改革であるかを忘れさせない。公益社入社前の10年間は、ある会社で引越、園芸、建売の各業務とクレー射撃場支配人を担当された。ご経歴からわかるように決してエリートではない。また、巧んで自らを高みに引き上げた方でもない。氏の生き方は、愛読書である山本周五郎や藤沢周平が描いた、自らの境遇の中で、甘んじることなく、卑下することもなく、しかし力むこともなく、己の信じる道を真摯に生きた市井の名もない人々に、すーっと重なり合う。甥御さん評は「何でもすぐにやるおじさん」とか。(編集子)

命がけの改革

43歳の時に、義父が株主だった縁もあつて、公益社に入りました。そこでは、それこそ月夜の晩ばかりではない、そんな恐ろしい思いも結構、味わいました。何しろ個人の収入ダウンにもつながりかねない、創業以来初の大改革の指揮者をやったのですから。当時の公益社もすでに業界一の葬儀会社でしたが、仕事の性格上、人材集めには大変な苦勞をしていました。職業に貴賤はないといいますが、遺憾に触れたりすることを含めて、葬儀営業の仕事への希望者は限りなくゼロに近い現実がありました。「なに数年勤めれば、高級外車に乗れるようになるよ」などといわれて入った者が結構多かったです。また事実、そうなっていました。



上場直後、株式公開セミナーにて講演

1992年6月27日、毎日新聞が朝刊の1面トップで「公益社 僧からリベート、年間1億」「遺族の心情つき、営業社員の大半関与」のスクープ記事を報じました。寺と営業社員が結託、不当に高いお布施を施主に払わせ、上乗せ分を社員が山分けしているという記事でした。当時、管理本部長で株式会社上場準備委員会の委員長だった私のところにも、こうした営業の実態を告発する匿名の手紙が来たりはしていました。その都度、内部調査をしましたが、営業部の壁を打ち破ることはできませんでした。5年がかりで準備をし、上場申請を行う予定日の10日前のことでした。上場準備委員会委員

長の肩書を業務正常化委員会委員長に改め、この記事が示してくれた社会の常識を味方に、総替えに近い営業所長の交代や年功序列ではなく品性によって行う人事制度の導入、営業の監視機能の強化策などを断行、今日の基礎を土台から再構築しました。株式公開も当初の予定から遅れること2年、94年3月3日に実現させました。大学卒業者の定期採用も始めました。まさに災いを転じて福となすことができたわけですね。

公益社は創業時から株式会社方式で葬儀事業に取り組むという、今でいうベンチャービジネスともいえる事業形態で始まりました。株式公開という第二の創業期を目前にした、この未曾有の危機に、創業以来のベンチャースピリット、企業DNAが頭をもたげ、福に転じさせる原動力になったものと確信しています。

ライフサポート企業へ

死者のお弔いのお手伝いをするということ、実は残されたご遺族の、より良い生き方のお手伝いをするにもつながっていると思えます。ですから「大切な人との最後のお別れを尊厳あるかたちでお手伝いし、「人生のマインラスからプラスへのステップを支えるパートナー」であり続けるという経営理念の具体化こそが、21世紀の公益社を中核とする燦ホーリンググループの進むべき道だと考えています。私も第二の創業期、株式公開第二世代が託した同第二世代の古内耕太郎社長以下若手ボードメンバーによる①葬儀の全国ネットワーク展開②ライフサポートサービスとしての機能発揮、などを骨子とした10年ビ

ジョンへの挑戦も始まっています。すでに7年前に設立した遺族サポート「ひだまりの会」では、近畿圏で約600人の会員が交流会、講演会、イベントなどを通じたグリーフ(悲しみ)ケアに取り組んでいます。さらに、ここからはNPO法人「遺族支え愛ネット」が生まれ、公益社との協働によるご遺族のライフサポート活動(講演会、会員自主企画の小旅行や地域活動など)の支援も着々と具体化し始めています。



「ひだまりの会」の遺族同士の分かち合い

幸い定期採用第1期生が10年選手になるなど、新時代を支える人材も育ち始めています。ご遺体に消毒・防腐・修復・化粧を施すエンバミング(遺体衛生保全)の普及率(米国は90%、日本は2%)の拡大やライフサポートなどサービスの質的・量的充実など、課題は山ほどありますが、葬儀価格体系の明文化、株式公開など、昭和7年の創業以来常に業界初のイノベーション(経営革新)に挑戦してきたDNAがさらなる「花の山」を探し当ててくれると信じています。日興証券入社以来、人との縁を大切にしてきました。公益社に入社してからも、こうした方々のご厚意に助けられたことは、一度や二度ではありません。ガーデンシティクラブ大阪には、出会いがあります。これからもさまざまな趣向やイベントを通じて、より斬新で豊かな出会いの場、交流の場づくりに挑戦し続けてください。

第26回メンバーズパーティ 2010年9月29日(水)

「NTTドコモショールーム」見学会

「今話題のスマートフォンに触れる!」をテーマに、(株)NTTドコモ関西支社 役員待遇総務部長の加川氏をホストに迎え、見学会が開催されました。ショールームでは、実際にスマートフォンを手に取り、身近な仕事についての活用術などご説明頂きました。ご参加の皆様は、最後まで興味につきない様子でした。これからの社会、欠かせないアイテムのひとつになりそうです。



株式会社NTTドコモ関西支社
役員待遇総務部長 加川 亘氏

見学会風景①



見学会風景②



見学会風景③

ホスト 株式会社NTTドコモ関西支社 役員待遇総務部長 加川 亘氏

第8回 YEA企画 2010年10月18日(月)

「iPadで仕事が変わる、人生が変わる」

発売当初から注目を集めている「iPad」。今回は、その「iPad」を使い、ビジネスの活用術など、2時間にわたりレクチャーして頂きました。懇親会中も、講師の高野氏を囲み、老若男女問わず、参加者の方々から活発な質問が飛び交うなど、活気あふれる会となりました。



株式会社 ターン・アンド・フロンティア
代表取締役 高野 博文 氏

講演会風景①



講演会風景②



懇親会風景①

講師 株式会社ターン・アンド・フロンティア 代表取締役 高野 博史 氏
ホスト 株式会社エクス 代表取締役社長 抱 厚志 氏
 株式会社梅酒屋 代表取締役 上田 久雄 氏
 株式会社サイバーネーション 代表取締役 喜納 広樹 氏
 株式会社ブレインウェーブ 代表取締役 園田 有希生 氏
 株式会社ワーク・ステーション 代表取締役 富永 優子 氏

第27回メンバーズパーティ 2010年10月27日(水)

「北ヤードプロジェクト、ナレッジキャピタルとは？」

大阪梅田の一大プロジェクト「北ヤード開発」。今回は、その中でも最も注目を浴びている、「ナレッジキャピタル」についてお話を頂きました。ホストは、株式会社竹中工務店 参与 黒田啓介氏。産官学の融合により知的事業創出拠点となることを目的とした、ナレッジキャピタル。実際現場を担当されている、プロジェクト開発推進本部 水方氏の話に、参加者の皆様は興味深く耳を傾けておられました。これからの北ヤード開発から、目が離せません。



左から講演者 水方氏、黒田氏、谷川氏



講演会風景①

講師 株式会社竹中工務店 プロジェクト開発推進本部 課長 水方 秀也 氏
ホスト 株式会社竹中工務店 参与 黒田 啓介 氏